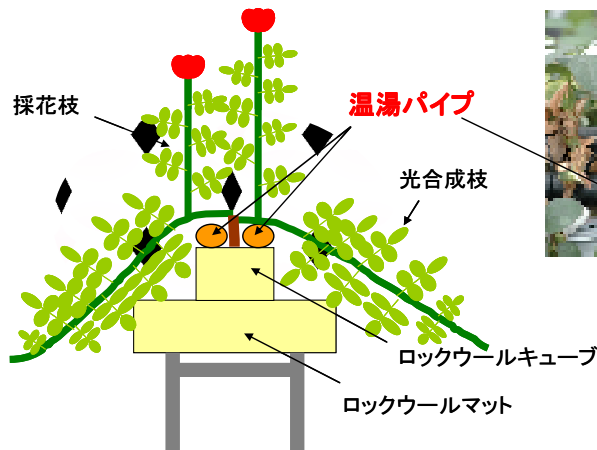
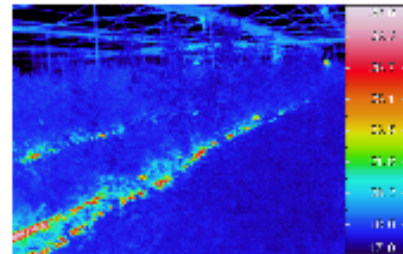


生産者温室へ**バラ株元加温システム**を導入すると、 生産性は向上し、高い省エネルギー効果が得られます

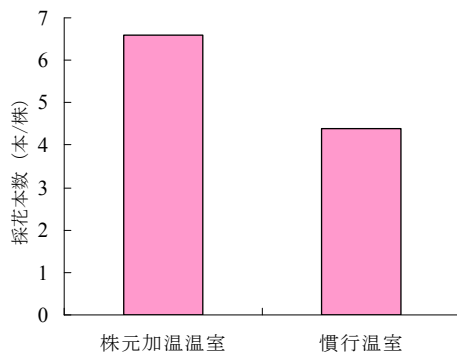
神奈川県内の温室バラ生産者ほ場に株元加温システムを導入したところ、採花本数は**5割増加**し、採花本数当たりの熱量は慣行の温室内加温温度18℃で株元無加温と比べて**約4割減**となりました。



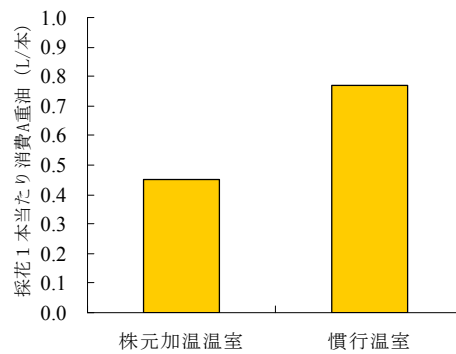
(特願2008-293654)



株元加温温室(サーモグラフィによる)



採花本数



採花1本当たりの消費A重油量

加温条件：試験温室；温室内暖房設定気温15℃，換気設定温度21℃。株元加温は温室内気温が20℃以下のとき35℃の湯水を循環。対照温室；温室内暖房設定気温18℃，換気設定温度24℃。

温室面積：試験温室；730㎡ 対照温室；801㎡

算定期間：2010年10月18日17時00分（暖房開始日）～2011年3月11日14時30分

採花本数：‘スプレーウィット’の株当たり採花本数

採花1本当たり消費A重油量：A重油発熱量42.7MJ/kg 密度0.86 効率0.85として算定。温室内栽植株すべてが‘スプレーウィット’として算定。株当たり採花本数から算定。